

「入会のご挨拶」

こうち中央社労士事務所
代表・社会保険労務士
秋山 直也



本年度7月から入会いたしました、社会保険労務士の秋山と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。早速メンバーリーの役を頂戴しましたので、まずは自己紹介をさせていただきたいと思ひます。私は高知市出身で秦小学校から当時別の意味で名門だった愛宕中学校、高知西高校を経て、大学は岡山大学法学部に進みました。中学時代は部活動を転々としていたのですが、高校時代からバスケットボール部に入部し、大学でもバスケ部サークルで週3回バスケットボールをして過ごしていました。そのため運動をすることが好きで、今ではバスケはしていませんが、週に2、3回ランニングをしたり、ジムに通ったりして汗を流しています。以前は仕事が忙しく、運動をする時間が全くない時代もあったのですが、時間管理について学ぶうちに自分の生活サイクルの中に健康づくりの時間がないことに気付き、今では自分で目標を設定して意識して時間を作るようになりました。そのおかげで何とか今でも高校時代と同じ体型をキープできています

大学卒業後はとある大手住宅メーカーに就職しました。卒業する少し前に配属先が発表されるのですが、なんと地元の高知。親は大喜びでしたが、若い頃は都会で働いて偉くなって高知に転勤するというストーリーを勝手に描いていたので、その時は少し残念な気持ちでした。そうして迎えた社会人時代ですが。とにかく当時はブラックな企業でした。「とある」と伏せているのはそのためです笑。朝8時に家を出て、帰宅するのはいつも夜の11時すぎ。休日も本当は年間120日以上ある会社でしたが、そんなに休める訳がありません。とにかく仕事、仕事の毎日でした。しかし入社したての私は仕事が好きだったのであまり苦痛に感じることもなく、むしろ色

んなことが勉強できて楽しく過ごしていました。しかし結婚してから考え方が変わってきました。独身・既婚関係なく、この生活リズムを続けること。自分よりふた回りほど年上の先輩が同じように働いているということは、自分の20年後もこの生活が続くのかと考えるとぞっとしてしまい、若いうちに転職をしようと決意することとなりました。仕事を辞めて何をしようかなと考えているときに、たまたまお客様として知り合ったのが社会保険労務士でした。ほかの士業のことは知っていたのですが、初めて聞く資格だったので興味本位で調べてみると、まさに自分にぴったりの仕事だと思ひこの資格を取ろうと思ひ立ちました。退職後に試験勉強を始め、翌年に無事に合格し、平成15年に開業し現在に至っております。

仕事柄、経営者側から相談を受けることが圧倒的に多いのですが、自分の中では労使のバランスが大事だと思ひていて、どちらか一方に偏った判断はしないように心がけています。会社とそこで働く従業員がお互いにハッピーになるためにはどうすれば良いのか。そのためにどんなアドバイスや選択肢を提示できるのか。いつもその事に心を配っています。特にこれからますます人口減少で人手が足りなくなります。そんな中でも人が集まる会社づくりが大事だと思ひ、事務所のミッションとして掲げて取り組んでいます。専門家とはいえ私もまだまだ未熟ですので、この協議会でさらに知見を深めることができると思ひています。

余談ですが、「とある」会社は時を経てワーク・ライフ・バランスを重視し、今では残業がほとんどないホワイトな会社に生まれ変わっています。時代に応じて変化していることを感じました。